

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

令和2年7月

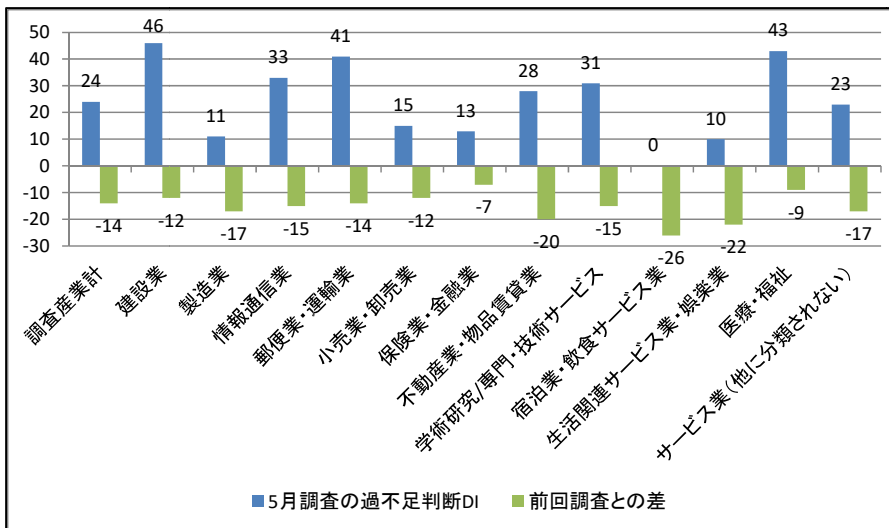
ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

1 建設業界のトピックス

■新型コロナウイルス感染症拡大が建設業の雇用環境に与えた打撃は比較的小さく人手不足の状況が続く

景気の変動が雇用等に及ぼす影響や今後の見通し等について調査している厚生労働省「労働経済動向調査」から、2020年5月における産業分野別の正社員等の過不足判断DI(不足と回答した事業所の割合から過剰と回答した事業所の割合を差し引いた値)を見ると、建設業はプラス46ポイントで、全産業分野の中で最も人手不足感が高くなっています(図表①)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり前回(2020年2月)調査よりも12ポイント低下してはいますが、低下幅は

【図表① 2020年5月の正社員等の過不足判断DIと前月差】

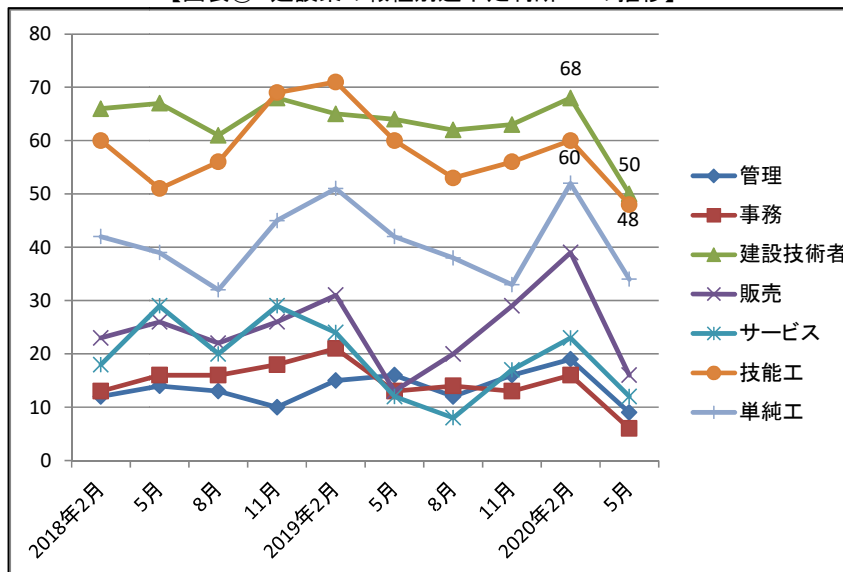


比較的小さく、建設業における人手不足は厳しい状況が続いていると言えます。一方、過不足判断DIが最も大幅に低下したのは宿泊業・飲食サービス業で前月より26ポイント低下、次いで生活関連サービス業・娯楽業が同22ポイント低下しており、これらの業種では新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を大きく受けていることが分かります。

■建設技術者、技能工の人手不足は依然として深刻

建設業の過不足判断DIを職種別にみると、最も高いのは建設技術者の50ポイント(前回調査より18ポイント低下)、次いで技能工の48ポイント(同12ポイント低下)となっており、大幅に低下したとはいえどちらも高水準です。新型コロナウイルス感染症拡大後にやや緩和されてはいますが、建設技術者と建設技能工の深刻な人手不足の状況は依然として続いていると考えられます。

【図表② 建設業の職種別過不足判断DIの推移】



出典: 図表①②ともに厚生労働省「労働経済動向調査」より作成

2 2020年5月の建設業界の雇用関連データ(2020年6月30日公表)

(1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は486万人(前年同月比97.4%)、雇用者数は401万人(前年同月比97.8%)となり、ともに2カ月連続で前年同月比で減少した。

<建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
建設業就業者数(万人)	499	504	495	508	502	494	513	488	459	503	512	491	486
前年同月比	101.0%	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%	99.4%	102.2%	101.2%	97.0%	101.4%	100.6%	97.6%	97.4%
建設業雇用者数(万人)	410	411	408	417	412	407	420	403	380	411	415	401	401
前年同月比	101.7%	97.9%	98.1%	100.0%	97.9%	96.7%	102.9%	103.1%	97.7%	102.8%	100.7%	96.2%	97.8%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(以下:ハローワーク)における新規求人数は61,954人(同90.0%)と5カ月連続で減少。

<建設業の新規求人数の推移(新規学卒者とパートを除く)>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
新規求人数(人)	68,831	74,247	76,101	65,764	72,547	77,093	66,211	67,089	65,149	64,012	68,055	63,707	61,954
前年同月比	97.9%	100.3%	108.0%	97.2%	100.3%	102.9%	94.9%	104.6%	88.1%	88.3%	94.3%	84.9%	90.0%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2)建設技術職の雇用動向

◆建設技術者数は30万人(同88.2%)と大幅に減少。

<建設技術者数の推移>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
建設技術者数(万人)	34	33	34	33	36	31	36	38	35	42	41	38	30
前年同月比	100.0%	100.0%	89.5%	86.8%	109.1%	103.3%	109.1%	108.6%	94.6%	123.5%	110.8%	100.0%	88.2%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は前年同月よりも0.50ポイント低い5.42倍となった。前年同月を下回ったのは、4カ月連続。

◆有効求人数は前年同月比88.1%、新規求人数は同87.9%となり、ともに5カ月連続で前年を下回り、建設業各社の求人意欲は低下傾向が続く。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比0.05ポイント低下して8.30倍となった。

◆充足率は前年同月比で1.0ポイント低下して3.7%となり、ハローワークで建設技術者を採用することが困難な状況は続いている。*充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
新規求人数(人)	19,124	20,600	20,772	18,980	19,807	21,633	18,984	19,685	17,758	17,719	18,204	16,703	16,808
有効求人数(人)	57,626	58,810	59,958	58,863	58,695	59,809	59,981	58,834	55,627	54,561	53,080	51,942	50,788
新規求職者数(人)	2,290	2,004	2,254	1,923	1,934	2,175	1,821	1,686	2,261	1,946	2,298	3,063	2,025
有効求職者数(人)	9,732	9,285	8,878	8,643	8,520	8,513	8,177	7,841	8,111	8,199	8,691	9,453	9,364
新規求人倍率	8.35	10.28	9.22	9.87	10.24	9.95	10.43	11.68	7.85	9.11	7.92	5.45	8.30
有効求人倍率	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42
就職件数	895	854	798	741	774	802	742	662	549	638	851	720	615
充足率	4.7%	4.1%	3.8%	3.9%	3.9%	3.7%	3.9%	3.4%	3.1%	3.6%	4.7%	4.3%	3.7%

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
新規求人数	100.8%	101.7%	107.7%	100.6%	102.6%	102.5%	96.8%	108.7%	90.2%	89.6%	95.7%	83.0%	87.9%
有効求人数	101.4%	101.9%	103.7%	101.9%	103.3%	101.9%	101.2%	101.4%	98.2%	95.2%	91.6%	89.5%	88.1%
新規求職者数	85.1%	86.8%	101.7%	91.4%	99.5%	93.7%	89.1%	100.7%	98.1%	88.0%	98.7%	92.7%	88.4%
有効求職者数	91.7%	90.2%	93.0%	94.7%	96.0%	94.4%	93.6%	95.3%	97.6%	97.0%	97.6%	96.3%	96.2%
新規求人倍率	1.30	1.51	0.52	0.91	0.31	0.86	0.83	0.87	-0.69	0.17	-0.25	-0.65	-0.05
有効求人倍率	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50
就職件数	89.5%	87.6%	91.4%	95.9%	95.7%	88.1%	91.7%	95.4%	81.2%	84.6%	90.8%	80.1%	68.7%
充足率	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.2%	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-1.0%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3)建設技能工の雇用動向

- ◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、前年同月比0.05ポイント低下して5.16倍となり、3カ月連続で前年同月を下回った。
- ◆有効求人数は前年同月比93.0%、新規求人数は同95.3%となり、ともに5カ月連続で前年同月を下回り、建設業各社の求人意欲は低下傾向が続く。
- ◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比0.65ポイント上昇して7.34倍となった。
- ◆充足率は前年同月比1.5ポイント低下して6.6%となり、ハローワークで建設技能工を採用することが困難な状況は続いている。

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
新規求人数(人)	35856	38176	39,508	34,132	37,952	39,971	34,622	34,487	33,611	33,768	35,927	34,694	34,171
有効求人数(人)	110537	111213	111,911	109,854	110,223	110,815	110,955	107,479	101,723	100,759	101,986	102,809	102,759
新規求職者数(人)	5362	4939	5,074	4,443	4,666	4,723	4,222	4,029	5,401	4,595	5,382	6,047	4,655
有効求職者数(人)	21198	20472	19,997	19,166	18,957	18,714	17,981	17,410	18,261	18,442	19,522	20,086	19,914
新規求人倍率	6.69	7.73	7.79	7.68	8.13	8.46	8.20	8.56	6.22	7.35	6.68	5.74	7.34
有効求人倍率	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16
就職件数	2881	2694	2,874	2,311	2,579	2,591	2,373	2,197	1,932	2,112	2,596	2,482	2,247
充足率	8.0%	7.1%	7.3%	6.8%	6.8%	6.5%	6.9%	6.4%	5.7%	6.3%	7.2%	7.2%	6.6%

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
新規求人数	96.8%	100.5%	107.6%	96.0%	101.3%	102.6%	96.3%	105.0%	87.2%	88.7%	95.8%	88.9%	95.3%
有効求人数	100.6%	101.0%	102.1%	101.5%	102.1%	100.4%	100.4%	101.5%	96.1%	92.9%	90.6%	90.9%	93.0%
新規求職者数	84.8%	88.8%	96.9%	81.2%	98.1%	88.0%	90.7%	97.2%	91.6%	87.5%	93.0%	93.4%	86.8%
有効求職者数	89.4%	90.2%	92.9%	91.0%	93.0%	91.0%	92.5%	94.7%	94.8%	92.9%	93.2%	92.6%	93.9%
新規求人倍率	0.83	0.91	0.78	1.19	0.30	1.21	0.48	0.64	-0.32	0.10	0.20	-0.29	0.65
有効求人倍率	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05
就職件数	89.1%	87.2%	98.3%	87.8%	100.0%	87.6%	86.9%	98.5%	90.6%	88.3%	91.3%	84.2%	78.0%
充足率	-0.7%	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-1.1%	-0.7%	-0.4%	0.2%	0.0%	-0.4%	-0.4%	-1.5%

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

2 2020年5月の雇用関連データのまとめ(2020年6月30日公表)

(1) 主要な雇用環境指標の推移

◆就業者数、雇用者数ともに2カ月連続で前年同月割れ

就業者数は6,656万人(前年同月比76万人減)、雇用者数は5,920万人(同73万人減)となり、ともに2カ月連続で前年同月を下回った。就業率は前年同月比▲0.6ポイント低下して60.1%となった。

◆完全失業率は前月より0.3ポイント上昇して2.9%

完全失業率(季節調整値)は前月より0.3ポイント上昇して2.9%となった。3カ月連続の上昇である。完全失業者数は4カ月連続で増加して、前年同月比33万人増の198万人となった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
15歳以上人口(万人)	11,093	11,093	11,096	11,091	11,092	11,097	11,097	11,085	11,086	11,083	11,084	11,080	11,084
対前年同月増減(万人)	-10	-17	-6	-7	-10	-7	-6	-8	-11	-5	-6	-9	-9
労働力人口	6,898	6,909	6,888	6,908	6,936	6,951	6,913	6,883	6,846	6,850	6,876	6,817	6,854
対前年同月増減(万人)	42	54	56	56	59	63	36	68	53	38	15	-67	-44
就業者数(万人)	6,732	6,747	6,731	6,751	6,768	6,787	6,762	6,737	6,687	6,691	6,700	6,628	6,656
対前年同月増減(万人)	34	60	71	69	53	62	53	81	59	35	13	-80	-76
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.7%	60.8%	60.7%	60.9%	61.0%	61.2%	60.9%	60.8%	60.3%	60.4%	60.4%	59.8%	60.1%
対前年同月増減	0.4%	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%	-0.7%	-0.6%
雇用者数(万人)	5,993	6,023	6,034	6,025	6,017	6,046	6,046	6,043	6,017	6,026	6,009	5,923	5,920
対前年同月増減(万人)	62	83	81	72	51	50	63	80	64	64	61	-36	-73
完全失業者数(万人)	165	162	156	157	168	164	151	145	159	159	176	189	198
対前年同月増減(万人)	7	-6	-16	-13	6	1	-17	-14	-7	3	2	13	33
完全失業率	2.4%	2.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.9%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業で大幅に就業者数が減少

産業別に就業者数を見ると、生活関連サービス業・娯楽業の就業者数が224万人で前年同月比▲11.5%(29万人減)、宿泊業・飲食サービス業が376万人で同▲9.2%(38万人減)となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でこれら2つの業種で大幅に就業者数が減少している。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	217	486	1,041	239	361	1,040	169
	対前年同月増減数	-8	-13	-27	15	10	-29	-5
	対前年同月増減率	-3.6%	-2.6%	-2.5%	6.7%	2.8%	-2.7%	-2.9%
雇用者	実数(万人)	60	401	997	226	349	963	166
	対前年同月増減数	-4	-9	-24	13	13	-34	-6
	対前年同月増減率	-6.3%	-2.2%	-2.4%	6.1%	3.9%	-3.4%	-3.5%

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類され ない)
就業者	実数(万人)	138	250	376	224	340	841	467
	対前年同月増減数	10	-2	-38	-29	8	9	22
	対前年同月増減率	7.8%	-0.8%	-9.2%	-11.5%	2.4%	1.1%	4.9%
雇用者	実数(万人)	119	192	329	167	311	810	413
	対前年同月増減数	5	-5	-27	-29	6	6	17
	対前年同月増減率	4.4%	-2.5%	-7.6%	-14.8%	2.0%	0.7%	4.3%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆非正規の職員・従業員が3カ月連続で大幅に減少

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は3,534万人(前年同月比1万人減)と7カ月ぶりに減少に転じた。また、非正規の職員・従業員数は前年同月比61万人減の2,045万人となり、3カ月連続で大幅な減少となった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
役員を除く雇用者数(万人)	5,641	5,679	5,699	5,688	5,683	5,721	5,712	5,698	5,665	5,688	5,656	5,582	5,580
正規の職員・従業員(万人)	3,535	3,531	3,526	3,497	3,481	3,526	3,526	3,518	3,516	3,530	3,506	3,563	3,534
構成比	62.7%	62.2%	61.9%	61.5%	61.3%	61.6%	61.7%	61.7%	62.1%	62.1%	62.0%	63.8%	63.3%
対前年同月増減(万人)	24	30	4	-18	-9	4	7	40	42	44	67	63	-1
非正規の職員・従業員(万人)	2,106	2,148	2,174	2,190	2,202	2,196	2,186	2,179	2,149	2,159	2,150	2,019	2,045
構成比	37.3%	37.8%	38.1%	38.5%	38.7%	38.4%	38.3%	38.2%	37.9%	38.0%	38.0%	36.2%	36.6%
対前年同月増減(万人)	27	46	71	82	59	40	44	23	-5	2	-26	-97	-61

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率が最も上昇したのは55歳～64歳の男性

年齢階級別・男女別に完全失業者数及び完全失業率を見ると、完全失業率が最も上昇したのは55歳～64歳の男性であり、前月比で0.7ポイント上昇して3.2%となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	198	33	2.9%	0.3%
(男)	119	24	3.2%	0.3%
(女)	79	9	2.5%	0.2%
15歳～24歳	33	8	5.1%	0.2%
(男)	19	5	6.0%	0.3%
(女)	14	3	4.2%	0.3%
25歳～34歳	43	6	3.9%	0.2%
(男)	25	5	4.4%	0.1%
(女)	18	1	3.5%	0.4%
35歳～44歳	36	3	2.6%	0.4%
(男)	22	4	3.0%	0.5%
(女)	15	0	2.4%	0.3%
45歳～54歳	37	3	2.1%	0.0%
(男)	20	1	2.1%	0.0%
(女)	18	3	2.2%	0.1%
55歳～64歳	31	7	2.7%	0.5%
(男)	20	6	3.2%	0.7%
(女)	11	1	2.1%	0.2%
65歳以上	18	6	1.8%	-0.1%
(男)	15	5	—	—
(女)	4	2	—	—

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆前月に引き続き、新たに求職、勤め先や事業の都合による離職が大幅に増加

完全失業者数を求職理由別に見ると、新たに求職が前年同月比14万人増、勤め先や事業の都合による離職が同12万人増と、前月に引き続き大幅に増加した。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	23	22	19	20	21	23	22	20	20	21	23	30	35
対前年同月増減(万人)	1	-1	-6	-3	0	3	0	0	-2	1	4	9	12
定年または雇用契約終了による離職(万人)	16	15	18	17	17	13	15	14	16	15	17	18	19
対前年同月増減(万人)	-3	-5	0	-4	-3	-4	-2	-3	-1	1	1	-2	3
自発的な離職(自己都合)(万人)	68	66	70	73	73	73	63	62	69	69	71	71	73
対前年同月増減(万人)	4	-3	-2	0	-2	2	-12	-11	-3	3	-8	-4	5
新たに求職	40	43	35	32	40	40	35	37	37	39	46	52	54
対前年同月増減(万人)	3	4	-5	-6	5	1	-2	1	-3	1	6	13	14

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

(2) 全体の有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は5カ月連続で低下して1.20倍となる

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.12ポイント低下して1.20倍となった。5カ月連続の低下であり、2015年7月以来の低水準となった。また、正社員の有効求人倍率も前月より0.08ポイント低下して0.90倍となり2カ月連続で1.0倍を割り込んだ。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
有効求人倍率(倍)	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20
新規求人倍率(倍)	2.43	2.36	2.34	2.45	2.28	2.44	2.32	2.43	2.04	2.22	2.26	1.85	1.88
正社員有効求人倍率(倍)	1.15	1.15	1.14	1.14	1.13	1.13	1.13	1.13	1.07	1.05	1.03	0.98	0.90

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より0.28ポイント低下して1.73倍となった。10カ月連続の低下であり、すべての専門的・技術的職種で前年同月割れとなった。

◆低下率が最も高かったのは前月に続いて医師・歯科医師・獣医師・薬剤師であり前年同月比1.35ポイント低下して3.55倍となった。次いでサービスの職業が同0.76ポイント低下して2.12倍、情報処理技術者が同0.70ポイント低下して1.66倍であった。

■最も有効求人倍率が高いのは建築・土木・測量技術者の5.42倍、次いで建設・採掘の職業の5.16倍となっており、建設業関連の専門職の人手不足が依然として深刻である。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
職業計	1.33	1.37	1.40	1.41	1.42	1.43	1.46	1.51	1.40	1.34	1.25	1.12	1.02
専門的・技術的職業の有効求人倍率	2.01	2.11	2.18	2.21	2.23	2.25	2.33	2.45	2.32	2.21	2.06	1.83	1.73
開発技術者	2.28	2.40	2.36	2.40	2.41	2.27	2.36	2.40	2.29	2.23	2.13	1.98	1.92
建築・土木・測量技術者	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42
情報処理技術者	2.36	2.43	2.44	2.45	2.46	2.41	2.42	2.47	2.30	2.17	2.08	1.87	1.66
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	4.90	4.51	4.47	4.43	4.45	4.46	4.66	4.90	4.76	4.51	4.40	3.81	3.55
保健師、助産師、看護師	2.21	2.31	2.32	2.35	2.36	2.47	2.63	2.85	2.69	2.60	2.45	2.18	2.12
医療技術者	2.73	2.94	3.05	3.18	3.12	3.17	3.27	3.42	3.20	3.10	2.91	2.53	2.32
その他の保健医療の職業	1.97	2.10	2.18	2.21	2.25	2.28	2.32	2.40	2.32	2.29	2.14	1.91	1.73
社会福祉専門の職業	2.77	3.01	3.22	3.32	3.42	3.43	3.58	3.92	3.73	3.36	3.08	2.73	2.72
美術家、デザイナー、写真家	0.37	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.37	0.36	0.32	0.26	0.21
事務的職業	0.43	0.43	0.45	0.45	0.46	0.47	0.47	0.48	0.47	0.46	0.43	0.36	0.32
販売の職業	1.94	1.99	2.00	2.01	2.02	2.02	2.08	2.15	2.06	2.11	2.03	1.79	1.55
サービスの職業	2.88	2.99	3.06	3.11	3.10	3.13	3.18	3.33	3.11	3.02	2.81	2.45	2.12
生産工程の職業	1.69	1.71	1.68	1.68	1.68	1.66	1.67	1.68	1.56	1.54	1.47	1.36	1.20
輸送・機械運転の職業	2.52	2.61	2.61	2.63	2.65	2.69	2.81	2.88	2.68	2.58	2.38	2.10	1.89
建設・採掘の職業	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16

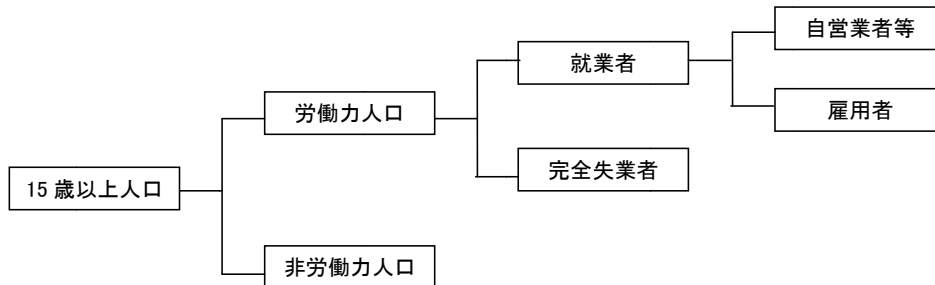
出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	2019年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月
職業計	0.03	0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	-0.11	-0.15	-0.18	-0.23	-0.31
専門的・技術的職業	0.05	0.02	0.00	-0.01	-0.02	-0.04	-0.05	-0.05	-0.11	-0.14	-0.18	-0.21	-0.28
開発技術者	-0.07	-0.06	-0.22	-0.18	-0.14	-0.37	-0.40	-0.44	-0.39	-0.43	-0.41	-0.36	-0.36
建築・土木・測量技術者	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50
情報処理技術者	-0.08	-0.12	-0.13	-0.17	-0.13	-0.21	-0.22	-0.27	-0.35	-0.48	-0.49	-0.53	-0.70
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.50	-1.24	-1.34	-1.26	-1.09	-1.01	-0.88	-0.94	-1.20	-1.53	-1.54	-1.05	-1.35
保健師、助産師、看護師	-0.01	-0.05	-0.09	-0.08	-0.10	-0.03	0.02	0.02	-0.07	-0.05	-0.08	-0.06	-0.09
医療技術者	0.16	0.11	0.08	0.09	-0.03	0.03	0.06	0.09	-0.06	-0.19	-0.24	-0.29	-0.41
その他の保健医療の職業	0.20	0.21	0.21	0.19	0.12	0.14	0.13	0.15	0.13	0.12	0.01	-0.08	-0.24
社会福祉専門の職業	0.18	0.19	0.17	0.20	0.21	0.14	0.16	0.30	0.22	0.06	0.00	-0.03	-0.05
美術家、デザイナー、写真家	-0.28	-0.07	-0.07	-0.08	-0.08	-0.07	-0.07	-0.08	-0.09	-0.10	-0.11	-0.14	-0.16
事務的職業	0.02	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-0.02	-0.05	-0.05	-0.08	-0.11
販売の職業	0.07	0.03	0.01	-0.03	-0.03	-0.03	-0.02	-0.02	-0.10	-0.02	-0.04	-0.17	-0.39
サービスの職業	0.13	0.12	0.12	0.15	0.07	0.13	0.12	0.13	0.01	-0.01	-0.10	-0.38	-0.76
生産工程の職業	0.01	-0.02	-0.09	-0.12	-0.15	-0.20	-0.23	-0.27	-0.34	-0.34	-0.32	-0.37	-0.49
輸送・機械運転の職業	0.13	0.14	0.11	0.09	0.06	0.11	0.13	0.11	-0.06	-0.15	-0.28	-0.47	-0.63
建設・採掘の職業	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)